



**TOKYO DENTAL COLLEGE
ALUMNI ASSOCIATION**

TDC Academia 2017



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

日本歯科医師会生涯研修認定

歯科医師として充実した人生を歩むためTDCアカデミアの活用を



会長 矢崎 秀昭

TDCアカデミア構想に基づき、卒業直後の方、ある程度臨床経験を積まれた方、より高度な臨床を目指している方など、それぞれのニーズに適応した生涯研修が企画されています。

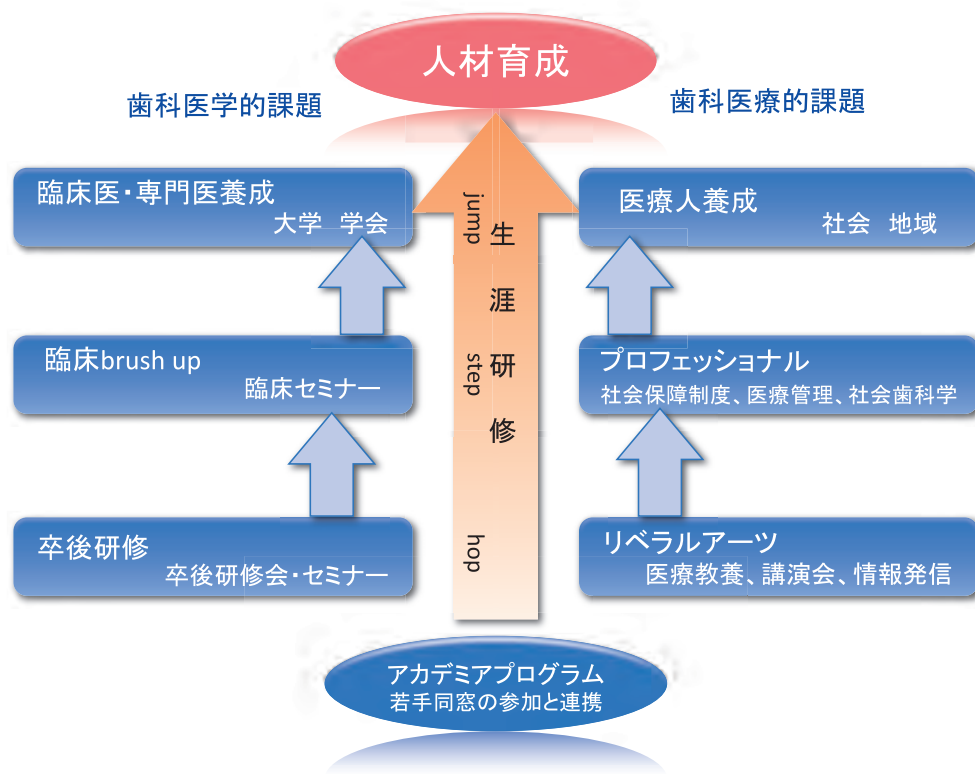
卒直後の方を対象とし、毎週のように開催されている卒後研修では同世代の方々と症例を通じての検討で、信頼される歯科医師として基礎を確立することが出来ます。是非一度参加して自身で体験してみてください。

40年に及ぶ伝統ある臨床セミナーにおきましては、最新の高度な技術やその理論を、大学や経験豊かな臨床家から学び、明日からのご自身の臨床に応用できます。

広い社会的な視野に立って、歯科界をみるリベラルアーツや医療教養を軸としたセミナーも企画されています。

生涯にわたり人々の健康に寄与し、感謝され、豊かな歯科医師として人生を歩むために、是非、TDCアカデミアをご自分で活用して戴くようお願い申し上げます。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野から技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop → step → jump として目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことない方、
一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方に
とても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

症例を通じて Hop、Step、Jump !

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいのか？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるのか？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいのか？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。

参加無料

東京歯科大学水道橋校舎南棟6F 会議室

TDC 研修倶楽部

第2水曜日 19:30 ~

なぜ、この患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうかって思ったことはないですか？ その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

是非、ご参加ください！

デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 19:30 ~

症例に悩んだ時に「みんなも悩んでいるのか？」「自分だけが悩んでいるのか？」って思ったことはないですか？ そのような経験をお持ちの方におすすめです。

様々な症例から疑似体験をすることで、参加している方の色々な考え方を勉強できる会になっています。

歯科臨床を語る会

第4木曜日 19:30 ~

経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。

参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。



「歯周炎の患者さんについて考える」 ～病態の把握から～

歯周治療って・・・
 どのようなことに注意するのか
 どこまで検査するのか
 検査結果をどのように反映させるのか
 治療後はどのように変化していくのか



歯周病の治療における、病態の把握を中心に歯周病検査と臨床症状の関連付けを考えていただくセミナーです。
 また実際の歯周病症例を、グループ・ディスカッションにて治療の疑似体験をしていただきます。そして症例
 解説を通して、症例の情報収集、分析、診断能力を養い、病態の把握、経過観察の重要性を習得していただきます。

開催日：4月23日(日) 9:30～16:30
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 13 F
 講師：学術委員
 定員：80名
 受講料：無料（臨床研修医 卒後5年目以下）
 その他5千円（受講料は当日受付でお支払い下さい）
 講演内容：歯周病の検査、病態の把握、経過観察の重要性
 実習内容：グループ・ディスカッション
 チュートリアル形式にて

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) から Web 申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

卒後研修 ベーシックセミナー	
ふりがな	歯科医師 (大学 年卒)
ご氏名	臨床研修医 (大学卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
	TEL FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

エンドセミナー

東京歯科大学同窓会

近年における歯内療法はCBCTによる診査診断、マイクロスコープの併用、Ni-Ti ファイルを用いた根管拡大形成と、従来の根管治療と比較してより高度な精度の高い治療へと変化してきています。槌状根、4根管歯においては、CT撮影およびマイクロスコープ下での治療に対して保険加算算定もできるようになり、我々歯科医にとって、歯内療法におけるマイクロスコープの活用は、より身近になってきております。

そこで、マイクロスコープによる歯内療法を習得していただくとうと本セミナーを企画いたしました。マイクロスコープの基本操作、有効的な使用方法はもちろん、基本的な歯内療法の考え方や根管治療のポイントも押さえた、基礎的なセミナー構成となっております。臨床経験の浅い先生から、これからマイクロスコープを取り入れようと考えていらっしゃる先生方まで幅広く参加いただけるセミナーであります。この機会に是非、マイクロスコープを実際に使いながら根管治療実習を通して体現していただき、新たな臨床の幅を広げていただきたいと思います。

マイクロエンドドンティクスの極み

～歯内療法の基礎からマイクロスコープの基本的操作習得の1.5日～

講師：古澤 成博（東京歯科大学歯科保存学講座）

日時：5月20日（土） 13：00～18：00

5月21日（日） 9：00～16：00

場所：GC Corporate Center（東京都文京区本郷）

定員：24名

受講料：10万円

9万円（前年度同窓会費納入者）



- | | |
|--|---|
| <p>講演 歯内療法における根管解剖
Retreatment 歯へのアプローチ
外科的歯内療法</p> <p>実習 マイクロスコープの基本動作
抜去歯を使用してマイクロスコープ下での髓室開拓、根管拡大形成
根管内異物の除去、歯根端切除術</p> | <p>マイクロスコープを用いた根管治療の流れとポイント
破折歯、難治性根尖性歯周炎への対応</p> |
|--|---|



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

エンドセミナー

ふりがな	出身校（	大学）
ご氏名	（	年卒）
ご連絡先	自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）	
住所	〒	
TEL	FAX	
ご勤務先名		



古澤 成博

東京歯科大学卒業

東京歯科大学大学院歯学研究科（歯科保存学専攻）修了

東京歯科大学歯科保存学講座 主任教授

日本歯科保存学会専門医

日本歯内療法学会理事

日本顕微鏡歯科学会評議員

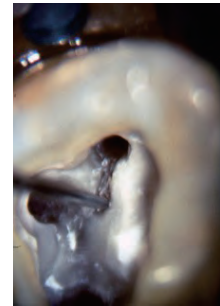
歯内療法領域における最近のトピックスと言えば、Ni-Ti ファイルの応用、歯科用コーンビーム CT (CBCT) をはじめとするデジタルイメージングの導入、そして顕微鏡の応用です。日常臨床における歯内療法処置では、旧来の方法に比較し顕微鏡を応用して処置を行った方が、確実に成功率が高くなると言われています。また、旧来のエックス線写真のみでの診断の下、手探りの処置では保存不可能であった患歯を CBCT によって立体的に診断し、顕微鏡を用いて明視下で確実な処置を行うことによって、患歯を保存することが可能となりました。

歯科領域に顕微鏡が導入され、直視下で処置を行う試みがなされるようになってから、早いものですでに 20 年以上が経過しています。従来、手探

りで治療を行わなければならなかった領域に、処置精度の向上につながる視覚強化 (Visual enhancement) の一手段として顕微鏡が導入されたことは、歯科医学の進歩に大きな貢献を果たしたといっても過言ではないでしょう。昨年の保険改正において、ようやく CBCT での診断下、顕微鏡を用いた歯根端切除術が先進医療から保険に導入されたのに加え、槌状根 4 根管歯における加算算定もできるようになり、一般の臨床歯科医師に対して歯内療法における顕微鏡の活用が、より身近になってきました。

そこで今回、改めて顕微鏡を用いた歯内療法の基本について、実際に体験を交えた実習を行って、学んでいただこうと思います。

(Masahiro Furusawa)



Part 1 補綴セミナー

東京歯科大学同窓会

ここ数年の審美歯冠修復処置の発展には目覚ましいものがあります。特にメタルに台頭し使用頻度が高まりつつあるジルコニアの出現は、前歯部のみならず、強い咬合力のかかる臼歯部にもオールセラミックスによる治療を可能としました。また、昨年からは小臼歯部限定で保険導入された、CAD/CAM冠によるノンメタル歯冠修復も、我々臨床家の審美治療の選択肢を広げています。このように審美領域だけに留まらない、これらのメタルフリー歯冠修復物はジルコニアやガラスセラミックスを中心に様々な製品が市場に出回っているのが現状です。

そこでこれらを一度総括し、それぞれの特徴や適応範囲を再確認し、患者さんにとってより良い治療法の選択肢の幅を広げられるよう、先生方の頭の中を一度整理していただくとう立案したセミナーであります。

併せて、支台歯形成の基本や接着操作などのワンポイントアドバイスを講演から聞いていただくことにより、さらなる臨床の幅を広げていただきたいと思います。

最近のメタルフリー歯冠修復の実際

～オールセラミッククラウン、CAD/CAM冠治療の勘所～

講師：佐藤 亨

(東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)

日時：6月11日(日) 10:00～12:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

定員：60名

受講料：7千円

5千円(前年度同窓会費納入者)



講演 オールセラミックの種類とその特徴
CAD/CAM冠の特徴とその適応
適切な支台歯形成法、接着技法、などについて



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

補綴セミナー

ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
TEL	FAX	
ご勤務先名		

*午後のPart2スポーツ歯科セミナーにも是非お申し込み下さい。



佐藤 亨

東京歯科大学卒業

東京歯科大学大学院歯学研究科（歯科補綴学専攻）修了

東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 主任教授

日本補綴歯科学会指導医・専門医

日本歯科審美学会認定医

日本接着歯学会認定医

最近、オールマイティーの歯冠修復として30年以上臨床使用されてきた陶材焼付鑄造冠に代わり、ガラスセラミッククラウンやジルコニアを使用したオールセラミッククラウン・ブリッジが日常臨床で使用されている。これらの修復法は、歯冠の形態、色調とともに咬合や口腔機能の回復も図れるメタルフリー修復法であることが大きな特徴となっている。このオールセラミック修復は、ガラス材料とその鑄造技術の進歩、ジルコニア材料とCAD/CAM技法の進歩発展により臨床応用が可能となった。

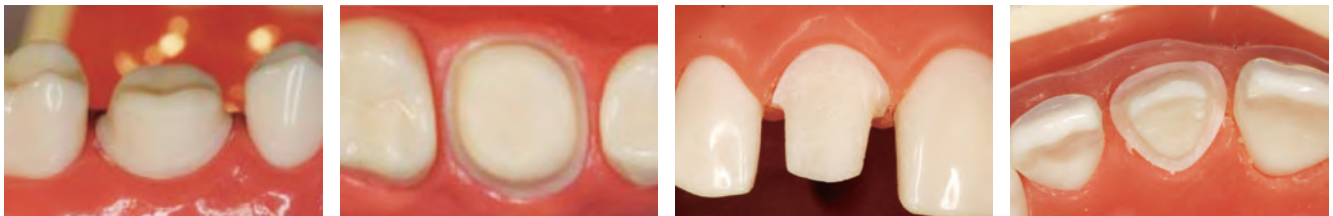
またこのCAD/CAM技術を使用して、平成26年にハイブリッドレジン製のCAD/CAM冠が一部医療保険に導入された。このハイブリッドレジン製は金銀パラジウム金属に代わる材料として、小白歯のクラウンに

適応され、保険診療で可能な審美的歯冠修復法、メタルフリー修復法として広がっている。このCAD/CAM冠は、臨床術式から従来の歯冠修復法とは全く異なるものとする必要がある。

そこで本講演では、CAD/CAM冠用レジン、オールセラミックス（前装タイプ、ジャケットタイプ）の材料の特徴、それらクラウンの製作方法とその特徴を解説し、臨床適応症例また応用時の注意についても解説する。

また支台歯形成の実際、セラミッククラウンおよびCAD/CAM冠（ハイブリッドレジンクラウン）の装着・接着の重要性とそのポイントを解説し、明日の臨床に生かす講演にしたいと考えている。

(Toru Sato)



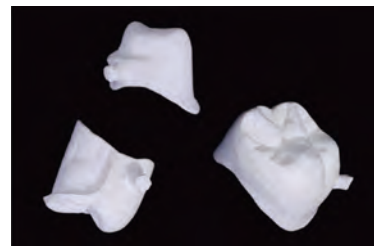
オールセラミック修復の支台歯形態



ガラスセラミッククラウン



フルジルコニアクラウン



フルジルコニアクラウンの前装形態



フルジルコニアブリッジ

Part 2 スポーツ歯科セミナー

東京歯科大学同窓会

近年スポーツと歯のかかわりについては、国民やアスリートから関心や認識が高まっています。また公認スポーツデンティストが国民体育大会、日本スポーツマスターズ、そして2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の現場において医療運営の支援やチームデンティストとしてフィールド内の活動も注目されてきています。

さて、一般歯科とアスリートの関わりが深いのがマウスガードであります。しかしながら安全性とは程遠いものやパフォーマンスの低下を施すものなど、間違ったマウスガードを使用しているアスリートがいるのが現実です。そこでマウスガードの普及にも尽力され、長年の研究によりマウスガードがもたらす外傷の予防軽減だけではなく、噛み合わせがもたらす運動能力の向上や姿勢制御の向上を明らかにされてきた武田友孝先生にご講演いただき、正しいマウスガードの製作法を学んでいただきます。

適切なマウスガードの必要性、効果およびその設計・製作法

講師：武田 友孝

(東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室)

日時：6月11日(日) 13:30～16:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

定員：60名

受講料：7千円

5千円(前年度同窓会費納入者)



講演 マウスガードのスポーツにおける顎口腔外傷・脳震盪の予防軽減効果
正しいカスタムメイドタイプマウスガードの必要性
安全性の高いマウスガードの設計、製作法
マウスガード装着による噛みしめがもたらす運動能力向上や姿勢制御の向上について
スポーツ歯科の可能性について



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

スポーツ歯科セミナー

ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
TEL	FAX	
ご勤務先名		

*午前のPart1 補綴セミナーにも是非お申し込み下さい。



武田 友孝

日本大学歯学部 卒業

日本大学大学院歯学研究科 修了

東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室 准教授

日本補綴歯科学会 指導医

日本スポーツ歯科医学会 認定医

日本オリンピック委員会・バレーボール競技・強化スタッフ

日本体育協会スポーツデンティスト

日本歯科医師会スポーツ歯科委員会委員

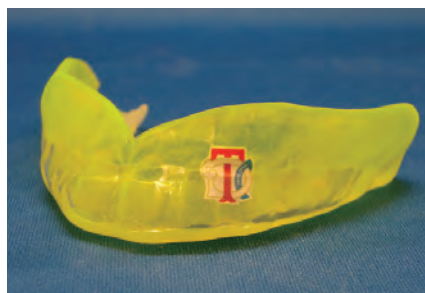
近年、マウスガードによる顎口腔系外傷の軽減、予防効果は、実験的、疫学的に立証され、スポーツ関係者のマウスガードへの認知度は高まり、その普及も進んでいるものと思われます。また、マウスガードの運動能力におよぼす影響に対する関心も少なくないようです。しかし、マウスガード装着時の外傷が少なくないこと、不適切なマウスガード使用による運動能力へのデメリットのあることも事実の様です。これは、未だに市販タイプおよびインターネットなどで購入可能な適切とは言えないマウスガードが使用されていることが、主な原因と思われます。しかし、カスタムメイドタイプであっても選手の口腔内状態、参加種目、競技レベルなどに適したマウスガードが必ずしも提供されていないことも要因の一つと思われます。

今回これらの点を考慮した適切なマウスガードの必

要性、デザイン、製作方法、正しい咬合の重要性などについてお話しさせて頂きたいと思います。さらに適切なマウスガードの、全身筋力、平衡機能の向上など高い運動機能の発揮に欠かせないスポーツクレンジングへの効果ならびに頸部筋力の向上による脳震盪の予防軽減などにも言及したいと思います。

スポーツ歯科的な活動は、縁の下の力持ちであることが少なくないと思われますが、今後のスポーツ界の発展に必要な不可欠であることは揺るぎない事実と思われます。今回、スポーツ歯科の現状、可能性についても触れさせて頂き、私のお話が先生方の臨床、選手の外傷の軽減・予防、2020年の東京オリンピック・パラピックに少しでもお役に立てれば幸いです。

(Tomotaka Takeda)



ペリオセミナー

東京歯科大学同窓会

現在、日本人の成人の約80%は歯周病に感染しているといわれています。

そうした背景からも国民の歯周治療に対する知識と要求は高くなってきており、日々の臨床で「歯周病の患者を診ない日はない」といっても過言ではありません。しかし、歯周治療の知識・歯周外科の経験不足から適切な診断及び処置がおこなえず、歯周治療において思うような結果が出せない、ということも報告されています。

今回のセミナーでは日本のみならず、世界的にも優れた臨床家である船登彰芳先生のもと、日々の臨床ですぐに実践できる歯周治療の知識を学んでいただきます。また、実習では豚を用い歯周外科の基礎を徹底的に習得していただきます。

この機会にグローバル・スタンダードの歯周治療の第一歩を学んでみませんか。

今こそ見直そうあなたの歯周治療

～スキルアップのための歯周治療の実践と歯周外科の基本技術の習得～

講師：船登 彰芳 (石川県 開業)

日時：7月9日(日) 9:00～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

定員：30名

受講料：8万円

6万円 (前年度同窓会費納入者)



講演 基本治療とメンテナンスの重要性
 リスクファクター：深いポケット・骨縁下欠損・分岐部病変
 歯周外科治療のオプションと臨床例
 長期症例から見た歯周治療の考え方
 審美治療における切除療法の応用

実習 豚を用いた歯周外科実習
 切除療法



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ペリオセミナー

ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)		
住所	〒		
TEL	FAX		
ご勤務先名			



船登 彰芳

広島大学歯学部卒業

医療法人社団なぎさ歯科クリニック（石川県金沢市）理事長
5-D Japan ファウンダー

アメリカ歯周病学会（AAP）会員

アメリカインプラント学会（AO）会員

ヨーロッパインプラント学会（EAO）会員

ヨーロッパ審美学会 Affiliate member (EAED)

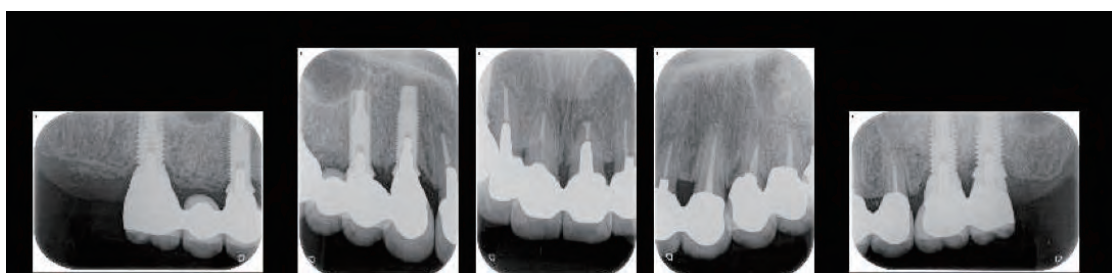
結論から言うと歯周治療に終わりはありません。なぜなら歯周炎は感染症であり、その原因菌を口腔内から除去することはできないからです。あくまでも歯周治療のゴールは、生涯にわたる歯周ポケット内のバイオフィルムの管理にあります。そのために最も重要となるのが、プラークコントロールを含めた初期治療とメンテナンスの継続にあります。ただし動的治療において、バイオフィルムの管理が難しいとされるリスクファクターになり得る深いポケット・骨縁下欠損・分岐部病変の改善を目的とした歯周外科治療が必要となることも多々あるのが臨床です。

本講演では、今一度初期治療とメンテナンスの重要性を再確認し、歯周外科治療の考え方・オプション

（切除・再生療法・歯周形成外科）を整理したいと思います。そして長期症例を通して反省を踏まえて、今の私なりの歯周治療の考え方にも触れてみたいと思います。

また実習では基本となる外科手技である切除療法を豚で習得していただきます。この手技を習得することによって、天然歯では審美的な歯周組織のコントロールも可能となりますし、再生療法へのステップとなります。またインプラント治療でも必須のGBRの足がかりともなります。

皆様の「スキルアップのための歯周治療の実践と歯周外科の基本技術の習得」へのご参加をお待ち申し上げます。
(Akiyoshi Funato)



MTM セミナー

東京歯科大学同窓会

審美補綴を考慮したエクストルージョン、補綴設計の幅を広げる大白歯のアップライト、咬合育成の一助となるレベリングなど次の一手となるテクニックとして、MTMは是非とも身につけたい臨床スキルです。

MTMのオリエンテーションとして、MTMの意義、適応症、固定源の取り方などの基本的な知識の習得から、術式の注意点まで講演と実習を通して修得できます。また、ケースプレゼンテーションを通して、症例選択のポイント、診査と治療方針を含めた具体的なテクニックを解説します。

主な実習としては、MTM臨床において使用頻度の高いワイヤーベンディングの基本、タイポドント実習では各種MTM装置の手技術式と歯の移動を実習いたします。

これからMTM症例に取り組んでみようと考えている方から、MTMの基本術式を確認したい一般臨床医に最適な内容となっております。

はじめてのMTM ～入門！ やさしい歯の移動テクニック～

日 時： 9月30日(土) 13:00～18:00 定 員：30名
 10月1日(日) 9:00～16:00 受講料：10万円
 場 所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F 8万円(前年度同窓会費納入者)

講 師：



末石 研二



西井 康



立木 千恵

(東京歯科大学歯科矯正学講座)

講 演 MTMの基礎知識
 MTM術式の注意点
 ケースプレゼンテーション
 アンカースクリューの有効性

実 習 基礎的ワイヤーベンディング
 タイポドント実習
 アップライト
 エクストルージョン
 レベリング

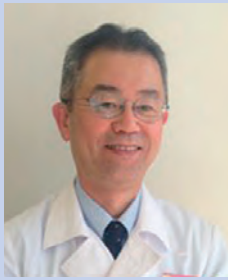


※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

MTM セミナー

ふりがな	出身校 (大学)	
ご 氏 名	(年卒)	
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住 所	〒	
	TEL	FAX
ご勤務先名		



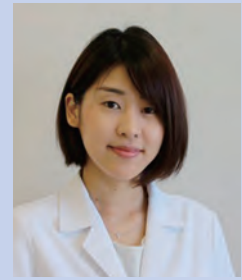
末石 研二

東京歯科大学卒業
東京歯科大学歯科矯正学講座主任教授
東京歯科大学水道橋副病院長
日本矯正歯科学会 認定医 指導医



西井 康

東京歯科大学卒業
東京歯科大学歯科矯正学講座講師
日本矯正歯科学会 認定医 指導医



立木 千恵

東京歯科大学卒業
東京歯科大学歯科矯正学講座助教
東京歯科大学千葉病院医局長
日本矯正歯科学会 認定医

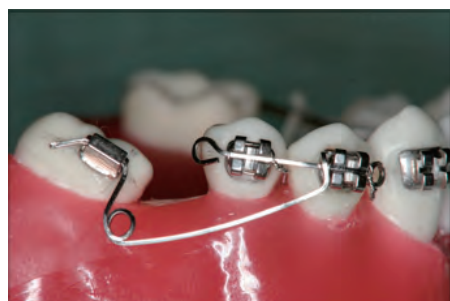
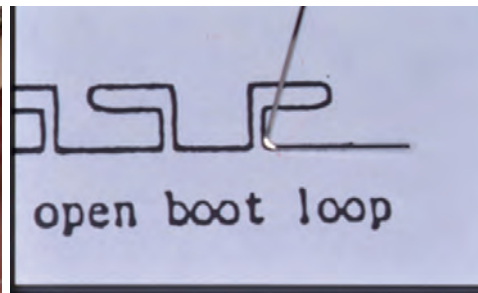
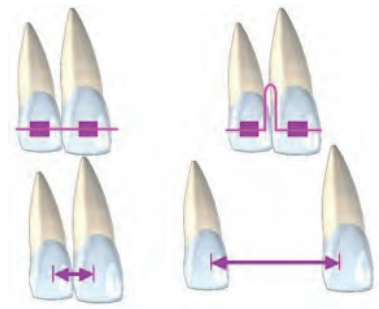
MTMは、質の高い包括的歯科治療には欠かせないものとなってきています。しかし、一度失敗すると立て直しは大変困難となるため、治療パターンのみを応用するだけではなく、その背景にある診断、治療計画の立案、フォースシステムの理解が重要となります。

また近年、歯科矯正用アンカースクリュー（アンカースクリュー）の有効性が確認され矯正臨床への応用が広まってきています。特に固定源の少ないMTMにおいては、大変有効な固定法であるといえます。

本セミナーでは、MTM 経験の浅い一般臨床医を対

象に、MTMの基礎と治療計画の立案、アンカースクリューを用いたMTMのデザインなど、臨床で高頻度に遭遇する下顎大白歯のアップライト、および上顎大白歯の圧下を中心に講義を行います。また、アンカースクリューの植立においては、植立部位の選定、成功率を向上させるための植立時の注意点を理解していただきます。実習ではタイポドントを用いた補綴前処置としてのアップライトやエクストルージョン、レベリングを行います。

(Yasushi Nishii)



日時：11月12日(日)

定員：60名

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

受講料：無料

Part 1 リベラルアーツ講座

9:30 ~ 10:30

歯科医療の専門化、高度化が進む中で、専門職におけるリベラルアーツの重要性が再認識されております。そこで、歯科医のための教養講座として、多彩な分野より講師をお招きして、講演会の開催を企画しております。

「味覚とおいしさの科学」

～和の味を再確認しよう～

講師：澁川 義幸 (東京歯科大学生理学講座 准教授)



昨今の日本の食事情を垣間見ると、日本人らしい食生活が希薄になりつつあります。「和食」が世界遺産に登録されたことは皆様ご承知の通りですが、このままではこの「和食」が伝承されていくことが難しくなっていくのではないのでしょうか。

今回の講演では、味覚の解剖学的、生理学的基礎知識、五基本味、味覚の受容機構などを解説いたします。

これらに加えて、現代若年者における味覚の問題点、味覚の嗜好性に伴う大脳生理などについてもお話しいたします。さらに、和食のキーとなる「うまみ」について、多方面から解説したいと思っております。

皆様と一緒に「和」のテストを科学してみようではありませんか。 (Yoshiyuki Shibukawa)

Part 2 フロントランナーセミナー

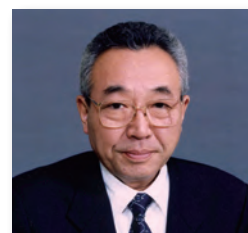
11:00 ~ 12:00

各分野で長年にわたり活躍されている著名な先生を講師としてお招きして行う講演会です。長年の経験の中から、次世代へ伝えたい事などをお話いただき、世代間での交流を目的としたセミナーです。

求められる歯科医師像

講師：高添 一郎 (昭和29年卒 東京歯科大学名誉教授)

The Miller Prize 受賞、公益財団法人野口英世記念会会長



わが国では、近年歯科医師の資質や臨床歯科医学の研究水準の低下ならびに歯科医師の研究離れが危惧されている。また国民からはより良質の歯科医療の提供が望まれている。人口構成に見られる急速な少子・高齢化や不安定な医療・教育制度などで歪みを生じた社会環境下で医療全般が多くの問題を抱えているのは事実である。歯科医師の多くは懸命に地域医療の使命を果たしているにも拘らず、社会的評価は一般に低い。

歯学部の入学生定員や歯科医師の受給問題にまで波及している。歯科界に起きるこのような沈滞はかなり古くからあり、波状的に発生している。このような状態から脱却するには、かなりの努力が必要であろう。しかしわれわれには解決の鍵がある。それは歯科界の

偉人血脇守之助先生の教訓である。“歯科医師たる前に人間たれ”“涸れる事のないエネルギーと知力、開拓者としてのフロンティア精神、才能の発掘と育成”という名言は、歯科医師が持つべき座右の銘として今日でも生きている。われわれは、古くから知・情・意の高揚を求められているのである。そしてこの理念が注意深く組み込まれた本アカデミアプログラムの枠組みを熟視すれば、今日求められている歯科医師像が浮き彫りになるに違いない。後は医療人としての自己確立を目指して前進するのみである。当日は基礎領域での長い経験から温故知新を試み、皆さんと一緒に自己啓発の道筋を考察したい。 (Ichiro Takazoe)

※お申し込みは裏面の用紙でFAXいただくか、同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

Part 3 医療教養セミナー

13:00～16:30

歯科医療をとりまく社会環境が変化に伴い、歯科医師の社会的責務も多様化しております。そこで、本セミナーでは教養学習を通じて医療人としての社会性や歯科医療倫理観を高めるとともに、多角的で幅広い視点を養うことを目的としています。

「人生の最期を人はどう迎えるか」
～終末期における歯科医療の役割と可能性～



講師：阪口 英夫

医療法人永寿会陵北病院
歯科診療部長



講師：平井 基之

介護老人保健施設
池袋えびすの郷 理事長



講師：遠藤 眞美

日本大学松戸歯学部
障害者歯科学講座専任講師

我が国は超高齢社会を迎え、人口減少のスピードが加速しております。そのような中、人生の終末期における生活の質の保持、さらには人の尊厳や家族の心の整理など、多様な視点からの専門的支援のあり方についての議論が急務となっています。そこで今回、終末期の臨床の現場で多様な取り組みをされている講師を

お招きいたしました。人生の終末期の体の変化や本人や家族を取り巻く環境や課題を理解するとともに、国民の口腔保健を担う歯科医の責務として、人生の終末期に対して果たすべく役割と可能性について講演いただきます。



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

リベラルアーツ 澁川先生	フロントランナー 高添先生	医療教養 阪口先生 平井先生 遠藤先生
ご希望のセミナーに○をしてください		
ふりがな	歯科医師 () 大学 () 年卒 ()	
ご氏名	コ・デンタルスタッフ () その他 ()	
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
	TEL	FAX
ご勤務先名		

*満席の場合のみご連絡いたします。

Doctorbook academy にご登録下さい <https://academy.doctorbook.jp/>

インターネットウェブサービスを経由し、事業案内、学術情報を Doctorbook を利用して、動画による情報配信をしております。Doctorbook academy のサイトに、東京歯科大学同窓会の枠を設けております。ご登録の上、これから配信される同窓会事業 PR、セミナー案内、トピックス、セミナー講演ダイジェストのコンテンツにご期待下さい。(サイトには、大学の他にスタディグループ、メーカー・プロダクトなど、様々な情報がございます。)

登録方法 (登録無料)

1. 同窓会ホームページ上、Doctorbook バナーをクリック。
2. Doctorbook academy のアドレスをクリックして、そのサイトに移動します。
3. 新規登録をクリック。
Doctorbook の会員規約に同意した上で、個人責任にて登録を行って下さい。
4. 登録内容画面
(氏名、メールアドレス、性別、パスワード、生年月日、歯科医師、医療機関名)
5. メールアドレスに、Doctorbook より登録の確認メールが届きます。(仮登録)
6. そのメール上で本登録を完了させて下さい。(本登録、確認のクリック)
7. 各自のメールアドレス、パスワードを入力し、ログイン。
(東京歯科大学同窓会のコンテンツは、学会・大学の中にあります)

Doctorbook academy

新規登録 ログイン

POINT
まずは簡単に登録!

Doctorbook academy会員は、安心してお使い頂けるよう医療関係者に限定しています。
医療法・薬事法などの観点から医療関係者であることを特定するために、お名前を頂いております。
ご登録頂いた情報は個人情報保護方針に基づき厳重に管理させて頂いております。
ご入力の際は必ずSSLにて入力されることを確認してください。

Facebookアカウントで登録
※ Doctorbook academyのIDでFacebookに登録することはありません。

お名前
氏名での登録をお願いしております

メールアドレス
携帯用メールアドレスを登録される場合は、事前に「@doctorbook.jp」からのメールを受信可能な設定にしてください

パスワード
半角英数字・記号で8文字以上のパスワードを設定してください

性別 男性 女性

生年月日 1970年 1月 1日

医療資格 歯科医師
 歯科技士
 歯科衛生士
 歯学生

医療機関名
お近くの医療機関の所在地(都道府県)を選択後、医療機関を入力して検索し、検索結果を選択してください

この内容で登録する

Doctorbook academy
<https://academy.doctorbook.jp/>

Doctorbook アカデミー

* 「会員が登録した内容が Doctorbook academy の参加企業へ情報開示されます」 企業 PR 等の広告が届く場合があることをご了承下さい。

卒後研修 …………… 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

臨床セミナー …… すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

医療教養 …………… 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

卒後研修

4月23日(日) **「歯周炎の患者さんについて考える」～病態の把握から～**
講師：学術委員

毎月 第2水曜日

TDC 研修倶楽部

毎月 第3水曜日

デンタルスタッフミーティング

毎月 第4木曜日

歯科臨床を語る会

臨床セミナー

5月20日(土) **マイクロエンドドンティクスの極み**
～歯内療法的基础からマイクロスコープの基本的操作習得の1.5日～
21日(日) 講師：古澤 成博 (東京歯科大学歯科保存学講座)

6月11日(日)

Part1

最近のメタルフリー歯冠修復の実際

～オールセラミッククラウン、CAD/CAM 冠治療の勘所～

講師：佐藤 亨 (東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座)

Part2

適切なマウスガードの必要性、効果およびその設計・製作法

講師：武田 友孝 (東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室)

7月 9日(日)

今こそ見直そうあなたの歯周治療

～スキルアップのための歯周治療の実践と歯周外科の基本技術の習得～

講師：船登 彰芳 (石川県・開業)

9月30日(土)

はじめての MTM

10月 1日(日)

～入門！ やさしい歯の移動テクニック～

講師：末石 研二 西井 康 立木 千恵 (東京歯科大学歯科矯正学講座)

医療教養

11月12日(日)

Part1

「味覚とおいしさの科学」～和の味を再確認しよう～

講師：澁川 義幸 (東京歯科大学生理学講座)

Part2

求められる歯科医師像

講師：高添 一郎 (東京歯科大学名誉教授)

Part3

「人生の最期を人はどう迎えるか」

～終末期における歯科医療の役割と可能性～

講師：阪口 英夫 (医療法人永寿会陵北病院)

講師：平井 基之 (介護老人保健施設池袋えびすの郷)

講師：遠藤 眞美 (日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座)

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎本館
- 東京歯科大学水道橋校舎南棟
- 東京歯科大学水道橋校舎新館

JR『水道橋駅』東口下車（御茶ノ水寄り出口）

都営三田線『水道橋駅』徒歩5分

* 駐車場は用意できません。車での来場はご遠慮ください。

* セミナー会場は直前のご案内にてご確認ください。



受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859（東京歯科大学同窓会事務局）

<http://www.tdc-alumni.jp>

必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
- ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
- ③職種 歯科医師（出身大学・卒業年度）、臨床研修医（出身大学）
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他

* もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

卒後研修・医療教養

- ・受付は先着順とし、受講票および受講案内の送付はございません。FAXあるいは同窓会HPよりお申し込みの上、セミナー当日、会場までお越し下さい。満席の場合はこちらからご連絡いたします。
- ・参加料・受講料（有料のセミナー）は、セミナー当日受付にてお支払いください。

臨床セミナー

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙（銀行・郵便局両用）をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承下さい。
（ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。）
但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

* 東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはいたしません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-9-18
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-5275-1761 FAX 03-3264-4859
URL <http://www.tdc-alumni.jp>

